

鮎釣り客に防犯の意識を

わだい ④

7月1日、鮎釣り解禁にむけた防犯パトロールが行われました。これは、町防犯協会（会長伊藤準悦さん）が、毎年鮎釣り解禁日や鮎釣り大会時に、車上荒らしなどの犯罪被害を防止するため行なっているものです。

この日は、防犯協会の連絡員や町駐在さん、新庄警察署の職員の計24名が参加。小国川沿いをパトロールし、鮎釣り客に注意を呼び掛けました。



小学生がセーブメディア運動を呼び掛ける

わだい ⑤

7月4～10日のセーブメディア運動期間に合わせ、舟形小学校6年生の浅沼瑠華さんが、防災無線で同運動を呼び掛けました。これは、テレビやゲームの時間を減らし、家族団らんの時間を増やすことや、メディアとの賢い付き合い方を考えることが目的です。

防災無線で子どもたちが直接呼び掛けるのは、今年度で2年目になります。浅沼さんは、「自分が呼び掛けたことにより、地域の人たちもセーブメディアに協力してもらえたら、うれしいです」と話してくれました。



JAから給食野菜のプレゼント

わだい ⑥

子どもたちに地元の新鮮な野菜を食べてもらおうと、もがみ中央農業協同組合から、7月6日にニラ、14日にミニトマトの無償提供がありました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、給食時の場所の分散、対面にならない、会話を控えるなどの対策をしているため、例年のように生産者と一緒に給食を食べることはできませんでしたが、子どもたちは、JAと生産者のみなさんに感謝しながら給食を楽しんでいるようでした。



アスリート教室で体力づくり

わだい ①

アスリート教室が、6月22日より町B&G海洋センターで始まりました。これは、子どもたちの体力の向上を図るとともに、運動の楽しさを知ってもらおうと町が開催しているものです。

この日は、申込みがあった小学4～6年生19名が参加し、町スポーツ推進員の指導のもと、リレーや鬼ごっこなど、走ることが楽しくなるような運動をしました。教室は令和3年3月まで、毎週月曜日に行われます。



初めての育児を支えます

わだい ②

6月24日、育児プレスタート講座が保健センターで行われました。この講座は、赤ちゃんが生まれる前に知っておきたい育児のコツを学んだり、妊娠中の生活や出産準備の疑問、不安などを保健師や助産師に相談する場になっています。

参加者は、赤ちゃんの発達と抱っこのしかたのほか、妊娠・授乳中の妊婦さんの栄養と食事等を学習しました。また、参加者同士の情報交換や、男性の妊婦体験なども行われました。



今年も鮎釣り解禁

わだい ③

7月1日、小国川の鮎釣りが解禁となりました。当日は小雨が降るあいにくのコンディションの中、県内外から太公望が集まり、竿から伝わる鮎の感触を楽しんでいました。

今年は、小国川漁業協同組合により県内最多となる4000kgの稚鮎が放流されたほか、小国川の清掃や鮎を将来に受け継いでいく活動も行われています。今年の鮎は形も良く、天然鮎の遡上率も高いということです。鮎釣りは10月まで楽しむことができます。



7/10 舟形ほえみ保育園 サマーフェスティバル



▶園児たちが準備した縁日コーナーで一緒に遊び、思い出を作りました。

7/8 離乳食教室 赤ちゃんの成長のため



▶赤ちゃんの成長に合わせた量や具材の固さを学び、実際に調理しました。

7/7 ふれあい育児の広場 七夕飾り



▶子どもたちは保護者と一緒に、思いおもいに短冊を笹に飾りつけました。

7/1 伊藤美喜子さん(内山) 人権擁護委員に再任



▶法務大臣から人権擁護委員に再任され3期目になります。任期は3年です。

7/1 沼澤靖浩さん(舟形第4) 人権擁護委員に委嘱



▶法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年です。

6/28 万が一に備える 消防ポンプ性能検査



▶アユパークにて密を避けながら、各部が小型ポンプの動作確認を行いました。

▼舟形町ではホームページを開いています。中でも「Oh! New News」は新鮮な情報が満載。
http://www.town.funagata.yamagata.jp/